

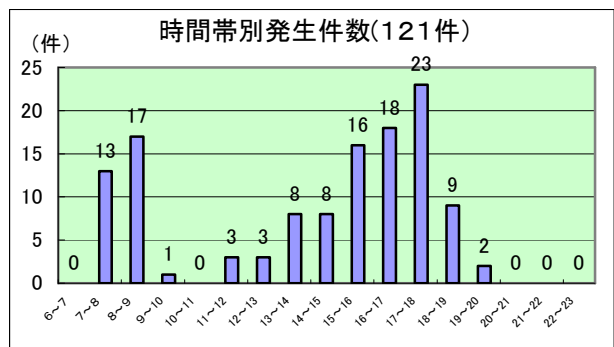
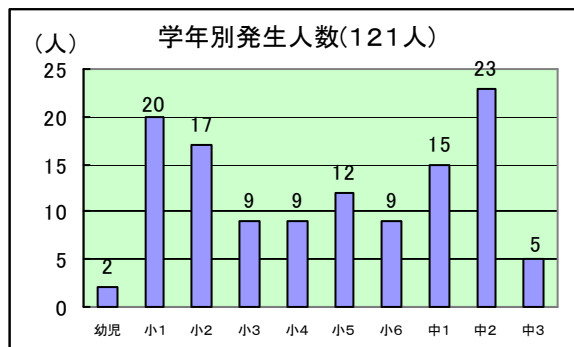
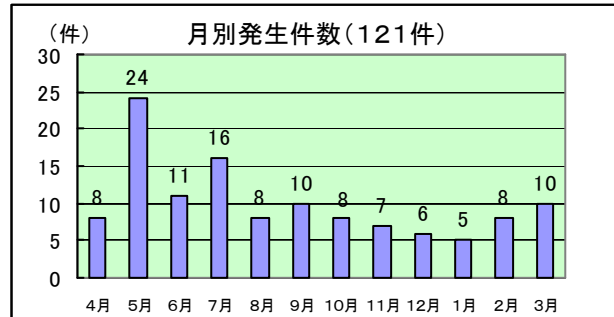
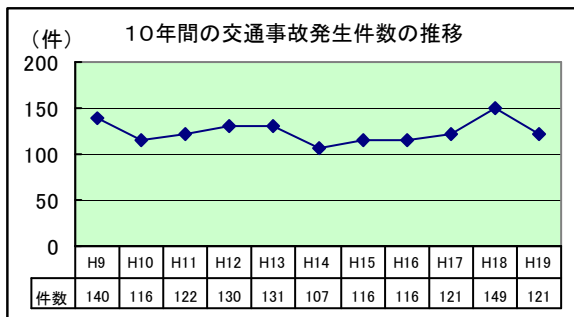
重点7 健康・体力の向上 / 5 安全教育

ねらい

教育活動全体を通じて、個人の生活や身近な生活における安全に関する知識を理解し、自主的かつ適切に安全を管理し、改善していく資質や能力を育成していくことをめざしています。

現状

○ 交通事故の状況（平成19年度） <指導課に報告があった交通事故>



- ・ 平成18年度増加した交通事故件数ですが、平成19年度は6月以降、昨年度にくらべて減少傾向を示し、年間発生件数は減少しました。
- ・ 事故発生件数の約80%が自転車乗車中の事故となっています。事故発生原因は、自転車乗車中、歩行中とも飛び出しが最も多く、全体の約45%となっています。
- ・ 事故発生時は、中学生では登下校時、小学生では下校後や休日に遊びに出かけている時に多く発生しています。したがって、事故発生時間帯としては、午前7時～9時、午後3時～6時が多くなっています。
- ・ 学年別発生人数から見ると、小学校低学年と中学校1・2年生の発生が多くなっています。

○ 交通安全教室（講習会）の実施状況

- ・ 各園・校では、交通安全教育を年間指導計画に位置付けています。特に、関係機関と連携し、体験活動を重視しながら「交通安全教室（講習会）」の取組を進めています。

	実施 校園数	実施対象別校園数			主な実施内容
		全学年	一部学年	子+保護者	
幼稚園	14	10	1	3	絵本の読み聞かせ、紙芝居、劇、講話、ビデオ、 自転車の乗り方や正しい歩き方の実技、衝突実験 の実演・体験、シートベルト体験など
小学校	34	25	6	3	
中学校	7	4	3	0	
【連携した関係機関等】					
各警察署及び各地区交通安全協会（四日市南・北・西）、三重県交通安全協会 自動車学校（四日市、四日市南、川越、菰野）、日本自動車連盟（JAF）三重支部、PTAなど					

○ 防災・防犯に係る取組状況（実施校数）

	防火教室	防災教室	危機管理マニュアルの作成	防犯訓練	防犯教室	安全マップの作成・見直し
幼稚園（24園）			24	17	24	
小学校（40校）	40		40	30	29	29
中学校（22校）		22	22	14	17	16

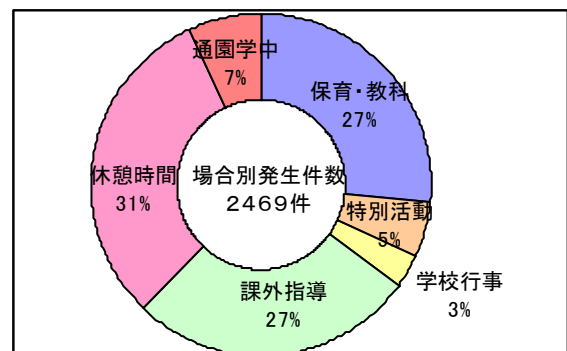
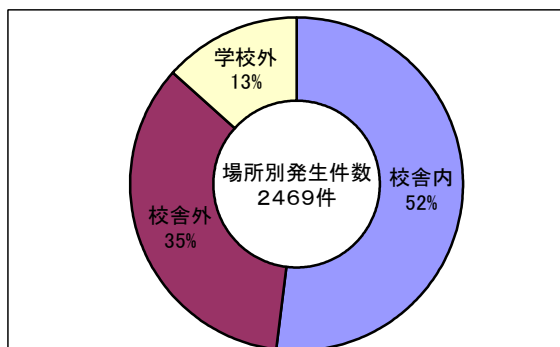
- ・ 全小学校5年生（または4年生）、全中学校1年生において、消防署の指導により、体験活動を取り入れた防火・防災教室を行っています。
- ・ 平成16年度から配布してきた防犯ブザーにかえ、今年度の小学1年生からは防犯笛の配布を始めました。
- ・ 子ども防犯等情報データベースによって不審者情報等を共有し、防犯の指導に生かしています。また、緊急な対応が必要な場合は、e-学校ネットにより情報を配信し、子どもの安全確保に努めています。
- ・ 各園・学校では、関係機関と連携して、不審者侵入時対応の防犯訓練や誘拐防止等の防犯教室を実施したり、緊急時の児童引渡し訓練を実施したりしています。
- ・ 「学校・園における幼児・児童・生徒の事故発生時等、緊急時の基本的な対応図」を6年ぶりに改訂し、各校・園や教育関係機関等に配布しました。

○ 学校事故の状況

＜重大事件事例（首から上の事故、入院や継続治療が必要な事故等）＞：指導課に報告があった事故より

- ・ 体育科の授業や休み時間等に、顔から前方に倒れて歯をうち、前歯が脱臼、欠損した。
- ・ 逃げる子を追いかけて、その子が扉を閉めたために勢い余って扉のガラスに突っ込み、腕に裂傷を負った。
- ・ 倒れた際に手をつき、腕を骨折した。

＜場所別・場合別発生件数＞：平成18年度日本スポーツ振興センターに報告した事故



- ・ 校舎内（体育館を含む）での事故が約半数を占めています。
- ・ 小学校では、休憩時間や体育科の授業で多く発生しています。また、中学校では、運動部の活動中が一番多く、続いて、保健体育科の授業中の発生が多くなっています。幼稚園では、ほとんどが保育時間中での発生となっています。

課題（今後の方向）

- 事故発生の原因を分析し、安全に配慮した指導、危機管理マニュアルに基づいた事故後の対応の仕方、施設や環境の整備の改善に努めます。
- 危険予測能力の向上をめざし、子どもや地域の実態に応じて、関係機関と連携しながら体験活動を生かした安全教育の充実を図ります。また、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間との関連を図りながら、身の回りの安全に対する問題意識をもち、その解決に向けて取り組む力を育む授業などを行い、安全意識の高揚を図ります。
- 不審者の校内侵入や不審者による声かけ、連れ去りへの対応、地震注意情報発令時の対応等、子どもや地域の実情に応じて、さまざまな場面を想定した訓練や研修会を実施します。
- 定期的かつ確実な学校施設や通学路の安全点検を実施します。